あなたの子育てを安心サポート

ベテランママが一緒に子育て

子育て、一人じゃ不安…。周りに相談相手がいない…。こんな子育てで大丈夫かな…。市は、このような子育て世代の不安を解消するため、ベテランの先輩ママが直接各家庭に訪問し、一緒になって家事・育児を行うホームスタート事業を行っています。

研修を受けた先輩ママが、悩みをじっくりと聞きながら、子育てに自信が持てるようにサポートします。

▶**対象**／市内在住で、就学前の乳幼児を養育し、育児に不安がある家庭
▶**利用時間**／週１回２時間程度。１家庭４回まで
▶**問合せ**／子育て支援課（内線492・493）またはＮＰＯ法人くすくす（☎77－3818）へ

悩んだときは迷わず相談

市は、子育て総合支援センターに「子育てなんでも相談電話」を設けています。一般的な育児相談から専門性が高い相談まで毎日応じていますので、お気軽にご利用ください。

子育てなんでも相談電話
（通話無料／８:30～17:00） ☎0800－200－7114（なんでもいいよ）

子育てママの就労を応援！

就業支援講習会 ヘルパー２級・医療事務

岐阜県母子寡婦福祉連合会は、県内在住の母子家庭の母親を対象に、就業を支援するための講習会（ヘルパー２級、医療事務）を開催します。

申し込みなど詳しくは、５月１日～15日に、子育て総合支援センター相談室（☎47－7014）へ。

子育てママの就労相談

市は、ハローワーク大垣と連携して、子育てをしながら仕事を探している人を対象にした就労相談を、毎月１回（第３金曜日）開催しています。お気軽にご利用ください。

◇**とき**／毎月第３金曜日　午前９時～正午
◇**ところ**／子育て総合支援センター
◇**相談員**／ハローワーク大垣のマザーズコーナー子育て支援連携推進員
◇**申込**／当日受付
◇**問合せ**／同センター（☎89－1232）へ

病児保育がスタート

医師・看護師・保育士が連携

病児保育室は、病気または病気の回復期にある子どもを、家庭で保育ができないときにお預かりする施設です。「そばにいてあげたいけど何日も仕事を休むことができない」など、困ったときのサポートをします（利用は、登録と事前予約が必要）。

詳しくは、病児保育室ピーカブー（☎82－1155）または子育て支援課（内線464）へ。

＊**対象**／市内在住で小学３年生までの子ども
＊**利用時間**／平日：午前８時～午後６時、土曜日：午前８時～午後０時30分（日曜、祝日、年末年始などは休み）

＊**開設場所**／児玉レディスクリニック（高砂町）※病気によって保育室を分けています
＊**利用料**／子ども１人１日あたり2,000円

マタニティマークで子育てにやさしいまちづくり

▶マタニティマークとは？

妊産婦さんが外出するときに身に付け、周りの人が妊産婦さんへの配慮をしやすくするものです。

▶マークを見かけたら…

妊娠すると、ホルモンバランスの急激な変化で、つわりや体のだるさ、眠気などのつらい症状がありますが、妊娠初期はお腹が目立たず、妊婦であるか外見からは見分けが付きません。このマークを付けている人を見かけたら、「電車やバスなどで席を譲る」「近くで喫煙をしない」などの思いやりのある気遣いをお願いします。

未来のお母さんと赤ちゃんをみんなのやさしさでサポートしましょう！

▶５／６にキャンペーン

５月６日（日）に開かれる「元気ハツラツ市」会場において、マタニティマークのＰＲキャンペーンを行います。

パネル展示や妊娠疑似体験、赤ちゃん人形だっこ体験などを行いますので、ぜひお立ち寄りください。

保健センターでは、母子健康手帳の交付時にマタニティマークのキーホルダーまたは自動車用ステッカーのいずれかをお渡ししています。
詳しくは、保健センター（☎75－2322）へ。

テレビ・ラジオ広報番組案内 5月

▶ぎふチャンテレビ〈地上デジタル8ch〉
「あなたの街から大垣市」
「文教のまち大垣」の文化に触れる
17日／午後６時～６時15分
▶大垣ケーブルテレビ〈チャンネルOCT〉
「水都ピア通信おおがき」
盛大にオープン！奥の細道むすびの地記念館
月／午後６時、火／正午～、水／午後２時30分～、木／午後10時45分～、金／午後５時30分～、土／午後９時45分～、日／午前７時45分～
▶東海ラジオ〈1332kHz〉
「マイタウン情報」
大垣まつり
11日／午後３時～３時３分
▶ぎふチャンラジオ〈1431kHz〉
「大垣市の時間」
木／午前９時40分～９時50分
３日＝おおがき芭蕉楽市
10日＝大垣まつり
17日＝おいしい大垣ぶらりウォーク
24日＝北部水源地見学会
31日＝歯の健康フェスティバル
▶岐阜エフエムラジオ〈80.0MHz〉
「子育てパラダイス」
第１・３・５火／午前８時45分～47分
第２・４火／午前８時45分～50分
「大垣カフェタイム」
土／午前９時19分ごろ（１分30秒）

人口と世帯数（住民登録）

〈４月１日現在〉			前月比
人口	男	80,158	－16
	女	84,148	＋40
	計	164,306	＋24
世帯数		63,074	＋173

開幕までのカウントダウン あと151日

第67回国民体育大会　ぎふ清流国体　９月29日▶10月９日
第12回全国障害者スポーツ大会　ぎふ清流大会　10月13日▶10月15日

子どもの発達 気になることはありませんか

人の性格が一人ひとり違うように、子どもが成長していくスピードやその様子にも違いがあります。

年齢に応じた発達と比べて気になる特性・・・

◉手先を使うことがうまくできない
◉理解や言葉に遅れがある
◉強いこだわりがある
◉極端に落ち着きがない
◉気持ちの切り替えができずに、かんしゃくがひどい

このような様子が見られると、保育園や学校などでの集団生活がうまくいかなかったり、友だち関係を築くのに苦労したりすることがあるほか、家庭の中でも、育てにくさやかかわりにくさを感じることがあります。

こうした発達において気になる特性は、「発達障がい」と呼ばれる障がいから現れる場合があります。それは、本人の努力不足や保護者の育て方が原因で起こるものではありません。

子どもが心身ともに安定した生活をするためにも、周囲ができるだけ早い時期にその特性に気づいて支援していくことが大切です。

気づいて支える「発達支援」

市は、保健・子育て・教育・福祉の機関などと連携して、具体的な支援の内容や方法を保護者と一緒に考えていきます。

▶▶▶大垣市スマイルブック◀◀◀

子どもの育ちや学びを応援する「大垣市スマイルブック」を配布して、それぞれの子どもに合った支援を進めています。保育園や学校などそれぞれの機関で、よりよい支援の情報がファイルされることで、関係機関がスムーズに連携して、一貫・継続した支援を行うことができます。

▶▶▶ご相談は発達支援担当へ◀◀◀

社会福祉課発達支援担当では、保健師・保育士・教員などの専門員を配置して、子どもの発達に関する悩みや支援方法などの相談に応じています。お気軽にご相談ください。

詳しくは、同課（内線479・477）へ。

発達とことばの相談会

▶**とき**／５月20日（日）　午前９時～午後３時
▶**ところ**／ひまわり学園（禾森町）
▶**内容**／発音が不明瞭、ことばが遅い、集団行動が取れないなど、ことばや発達に関する相談（１人１時間程度）
▶**申込**／５月15日までに、同学園（☎78－2498）へ
▶**備考**／上記以外にも、毎月第２・４火曜日の午後１時から３時まで相談を行っています（要予約）

川の生き物で水質チェック

青墓小学校のカワゲラウオッチング

次々にカワゲラを見つける児童ら

水生生物によって川の水質を調べる「カワゲラウオッチング」が４月19日、大谷川の上流で行われました。

今回調査したのは、青墓小学校４年生児童ら約80人。タモやバケツを手に、川の中に入った子どもたちは、石を裏返したり、川底をタモですくったりして、カワゲラやカゲロウなどを次々と捕まえました。

捕まえた後は、環境省の「水生生物による水質判定」に基づき川の水質をチェック。きれいな水にしか生息しない生物が多く見つかり、子どもたちは大喜びでした。

ほっとCITYアングル

子育て

国際助産師の日 記念イベント

＊**とき**／５月19日（土）　午後２時～４時
＊**ところ**／大垣市民病院１病棟３階ママサポートルーム
＊**内容**／助産師による夫立会い分娩紹介・アロマ紹介・ベビーマッサージ講座など
＊**備考**／駐車券と引き換えに無料駐車券を配布
＊**問合せ**／同病院産婦人科（☎81－3341　内線2231）へ

「光る泥だんご」作り

＊**とき**／５月27日（日）　午前10時～午後３時
＊**ところ**／杭瀬川スポーツ公園（水都大橋下）※雨天決行
＊**内容**／ピカピカ光る泥だんごを親子で作る
＊**申込**／５月１日から、社会教育スポーツ課（内線753）へ
＊**備考**／お手伝いしていただけるボランティアも募集（現地に午前９時集合）

光り輝く泥だんご

万華鏡を作ろう

＊**とき**／５月26日（土）　午後１時30分～２時30分
＊**ところ**／上石津図書館
＊**内容**／親子で手作り万華鏡を作る
＊**定員**／親子10組（先着順）
＊**申込**／５月３日から、上石津図書館（☎45－3118）へ
＊**備考**／４月28日～５月31日に同図書館で、万華鏡や手づくりおもちゃを紹介した図書を展示

シリーズ 景観遺産

市が指定した「大垣市景観遺産」60件の魅力をシリーズで紹介しています。

㉑八幡神社　西外側町１－１

八幡神社は東大寺の鎮守を勧請（かんじょう）して建てられました。

八幡神社の例祭である大垣まつりは、360年余の伝統を誇り、13両の祭軸が新緑の城下町を巡行し、華麗な元禄絵巻を繰り広げます。また、境内には清らかな水がこんこんと湧き出る自噴井があります。

㉒大垣城下水門川沿いの景観　本町１丁目～馬場町

大垣城の外堀として築かれた水門川は、揖斐川を介して船町と桑名宿を結ぶ水運としても活用されました。

現在、水門川沿いは「四季の路」として整備され、季節ごとの豊かな変化を楽しむことができます。また、大垣まつりでは、八幡神社前の水門川沿いで夜宮が行われるほか、水都まつりの万灯流しや、舟での川下り＝写真＝など季節を通してさまざまな催しが行われています。